

第2章 維持向上すべき歴史的風致

下野市は、西部に^{すがたがわ}姿川、^{おもいがわ}思川が、^{たがわ}東には田川、^{きぬがわ}鬼怒川が南流し、南へ緩やかに傾斜しながら南北に伸びる台地の周辺に段丘面を形成している。特徴的な地形により、住みやすい諸条件である水はけがよく通風に優れ、日当たりが良好で眺望がきく環境が限定されていたため、古代から現代まで、遺跡や集落等は河川、沢等に近い台地部のほぼ同じ位置に継承され、各時代の遺構が重複して発見されている。そのような連綿と続く集落生活に溶け込みながら、各時代や地域において本市特有の歴史的風致を形成してきた。

